

消費税導入 あす35年

消費税導入から4月1日で35年。連続増税とコロナ禍、物価高騰が暮らしと経営を圧迫する中、昨年10月に消費税増税のインボイス（適格請求書）制度が始まりました。インボイス未登録による取引排除や値引きの強要など実害がすでに出ています。制度を一刻も早く止めようと全国に先駆けて集会・デモを行った愛知県などの中小業者、フリーランスの人たちに、消費税やインボイスの影響、減税・廃止に向けた思いを聞きました。 (大田 昌義)



「ストップ・インボイス」をカードとポスターで示す(左から)藤、廣瀬、生田、柳原の高氏=26日、名古屋市中

■業者の思い

「消費税の導入によって生活しているのが、物価高で数々の苦痛を味わっている」といいます。これからは負担が増えるので、消費税を払いたくない。そのため値引きの強要がひどい。仕事として続けていくのが大変です。

インボイス 泣く泣く登録「増税つらい」

度開始直前の昨年10月、インボイス登録しなかったら消費税を払えないという新制度の導入は、多くの事業者にとって大きな負担となりました。今年3月の確定申告では、昨年10月以降の消費税の負担が増えているという声も聞かれます。

減税・廃止求め運動前進「政権代えよう」

ドラム隊やコールなどで盛りやかにデモ行進するインボイス制度の即時廃止を求める集会・デモの参加者=2月11日、名古屋市中



■愛知で集会
主催は、愛知県南上団体連合会「STOP INボイス」愛知支部。2月11日、名古屋市の繁華、栄の集会・デモには約300人が参加しました。

インボイス即時廃止を求める運動も徐々に広がっています。確定申告を終えた2月11日、名古屋市の繁華、栄の集会・デモには約300人が参加しました。

のインボイス反対運動など情報発信しています。9月、10月の県議会、国に制度廃止を求める議員提案を出した日本共産党、無所属議員の賛成多数で採択。